

老年歯科学特論・実習・臨床実習

《キーワード》 人口動態、老化、高齢者歯科治療、摂食嚥下障害、オーラルヘルスケア、在宅診療

《担当者名》 會田 英紀 豊下 祥史

【概要】

高齢者が健康で、質の高い生活を送るためには、まず、顎口腔機能の維持が必要である。歯の喪失には老化因子が関与しており、加齢の徴候が顎口腔系組織・器官に顕れる。また、恒常性維持機能の低下により健康が脅かされやすい状態にある。したがって、高齢者の身体的・精神的特徴を把握する必要がある。また、その歯科治療に関しては、全身管理、薬物動態についての知識が必要である。

誤嚥性肺炎と摂食嚥下障害やオーラルヘルスケアとの密接な関連、さらには、脳梗塞・脳出血後のリハビリテーションに果たす咀嚼の役割など、歯科治療の重要性が広く認識されるようになってきていることから、高齢者の歯科治療を適切に実践できる知識・技能・態度を養成する。

【学修目標】

1. 人口動態、老化学説について説明できる。
2. 高齢者の身体的・精神的特徴を説明できる。
3. 高齢者歯科治療における全身管理、薬物動態に関して説明できる。
4. 高齢者歯科治療を行うことができる。
5. オーラルヘルスケアの重要性を理解し、口腔ケア等を実践することができる。
6. 摂食嚥下障害患者の準備期、口腔期、咽頭期における診察・検査・診断を行うことができる。
7. 在宅要介護高齢者、施設入所高齢者の歯科治療を行うことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	人口動態、老化		會田 英紀 豊下 祥史
2	高齢者の身体的・精神的特徴		會田 英紀 豊下 祥史
3	高齢者の全身疾患		會田 英紀 豊下 祥史
4	高齢者歯科治療における全身管理、薬物動態		會田 英紀 豊下 祥史
5	オーラルヘルスケアと口腔ケア		會田 英紀 豊下 祥史
6	摂食嚥下障害患者の歯科治療		會田 英紀 豊下 祥史
7	高齢者に対する各種の歯科処置に関する要点		會田 英紀 豊下 祥史
8	在宅要介護高齢者、施設入所高齢者の歯科治療		會田 英紀 豊下 祥史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【学修の準備】

日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会の診療ガイドラインを検索し、該当するガイドラインに目を通しておくこと。